実践報告

Rin の皆さんはネットワークとして LINE を活用しながら活動報告や情報交換をしています。たくさんの報告の中から一部抜粋して紹介します。

2024年11月24日（日） 千丁女性防災士の会「防災トークCafé」（木村幸枝、西本妙子、西本朱美）

Rin1期・2期生３名を含む千丁町在住の女性防災士4名で、この度千丁女性防災士の会を設立し防災トーク Café を開催致しました。

企画・運営等、手作りによる初めての経験にて手探り状態でしたが、会議を重ね無事に開催の運びとなりました。震災の詩の朗読から始まり、ハザードマップの閲覧・女性防災士から伝えたいことの発表や展示・班に分かれての防災おしゃべりタイム等、防災について質問や感想等のおしゃべりに花が咲きました。

Rin 講座受講で習った、アイスブレイクやポストイットを活用したワークもしっかり取り入れながら、避難所運営に女性の視点の必要性や、地域での避難訓練の要望・家具の固定や防災用品の備蓄等について、様々な意見が出されました。防災について意識向上や女性視点での防災への啓発活動に、お役に立つ事ができたのではないかと思っています。この度の初めての取組に試行錯誤しましたが、これからも講座受講での知識を活用させて頂きながら、地域社会にお役に立てる様に、千丁女性防災士の会の活動を活発に進めていきたいと思います。







2024年11月24日（日）「宇土市総合防災訓練」（浦本晴美、古澤美和、元松佳代子、事務局内田）

※昨年まで関係者のみの実施だったが、一般市民が参加できる訓練にしてほしいと声を上げた結果、初めて公開で実施することとなった。防災減災の意識、関心、啓発の機会とするイベントです。

行政への働きかけにより、今回は新たに以下が加わりました
◉Rin メンバーによる防災ワークショップ
◉炊き出し訓練　※当初婦人会主体だったが、防災会議委員・Rin メンバーが行政に提言し、男性の参加を促した
◉宇土高校生の防災研究の展示発表
◉保育園児によるオープニング太鼓披露
◉カインズによる防災グッズの展示
多くの市民の方々を巻き込みましての開催。昨年より前進しました！
私たちは、ほぼ志保さんに教授いただきましたワークショップをおさらい、という取り組みでしたが(^^；　親子さん方楽しまれ、ギャラリーからも関心を寄せていただいたのでした。

2024年12月1日（日） 合志市永江団地ふれあいセンター（合志市）「永江地区防災ワークショップ」「いつもに使えてもしもに役立つ料理教室」（芹川恵、池邉豊美、野田ゆみ）

こんばんは🏠
昨日12/1、池辺さんの企画（永江地区防災ワークショップ）に芹川さんと野田が参加させて頂きました。Rin-T を赤いバッグに入れていたにも関わらず（家から着て行けば良かったのに）現地に着いて荷物を下ろすときに忘れたことに気づくという失態。なので野田のみ Rin-T 着ていませんが…
「いつも使えてもしもに役立つ料理講座」
◉芹川さん･･･空き缶を使った炊飯体験　◉野田･･･乾物を使った料理　21名の参加。
芹川さんの「空き缶でご飯」すご～く素晴らしくて、皆さん感激されていましたよ💕　そして、芹川さんの「災害時の備え」についての引き出しが沢山あってもう魅了されました💕🎶　芹川が気を付けていることは、人によってはどこのアルミ缶なのかな？と抵抗がある方のために主催者や皆さんには煮沸してもらいます。無洗米が便利ですが、普通の米でも大丈夫です。





2025年1月26日（日）「熊本市東区画図校区 防災ルール策定ワークショップ」（佐藤裕香理、事務局榊）





「熊本市東区画図校区 防災ルール策定ワークショップ」に参加しました。主催は画図校区防災連絡会、熊本市東区で地域全体の防災意識や防災力向上を図るのが狙い。地域住民が自発的に防災計画を作成する取り組みを促すことが目的。東区ではこれまでに秋津校区、西原校区で策定されており、当日は、防災連絡会、小学校、自治会長、校区防犯協会、消防団員、行政職員など約 50 人が参加。
「災害時は行政だけでは手が回らない。要支援者・要配慮者の支援、避難所運営など地域が主体となった自主的な活動が必要になる。そのために平時に何が必要か」ということについて皆で考える機会となった。

2025年1月29日（水） 帯山小学校（熊本市）「地震が起きても我が家で暮らすために」（報告者：長田陽子）

活動報告です★　「帯山小学校家庭教育学級 & おびっこ親ボランティアよかよかにて」「地震が起きても我が家で暮らすために」というタイトルで、講座を開きました★
内容は、ローリングストック、防災ポーチのススメ、100 均簡易トイレの比較、段ボールトイレの作り方、使い方を実際にお見せました(*^^*)ペットボトル手洗い器のススメ。新聞紙スリッパを作りました。最後に家庭内 DIG を参加者に書いてもらい、家庭内インテリアの危険箇所について考えてもらいました★そして、保存食の試食もしました。アンケートでは、簡易トイレが一番印象に残った方がダントツでした～(*^^*)楽しかったとの感想があり、大変嬉しくて、私の店で同じ内容で２月８日土曜に開催することにしました✨お時間ある方、ぜひ見にきてくださいませ★



2025年2月1日（土） 西部公民館（熊本市）「西区地域防災シンポジウム」（古川久仁子、中川奈穂子、古川智子、高智穂さくら）



本日、西区地域防災シンポジウムが行われました。体育館ほぼ満員で、西区の皆さんの関心の高さが伺えました。しかもこのイベント、託児つきです👶西区の地域コミュニティ力を感じました。進行は、Rin のメンバーでもある高千穂さくらさん。地域防災にお詳しく、ざくざく進めておられ、さすがでした👏

松尾一郎さんの講演後にあったパネルディスカッションには Rin1 期生・古川久仁子さんも登壇。久仁子さん、堂々たる発言と熱い思いが伝わり、とても良かったです👍
女性の方々も勇気をもらえたシンポジウムだったと思っています😊
さくらちゃん、竹内先生、久仁子さんとほぼ男女比同数でのステージ上は見た目にも良かったと思っております👌

2025年2月16日（日）「天草つんのでフェスタ」（澤田福美、木原成美、上野美登、上野佑月、西本朱美、事務局内田）

天草市つんのでフェスタにて、仙台視察で伺った宗片恵美子さんのお話をまた聴くことができ、改めて決意を促されました。パネルディスカッションでは、2 期生澤田福美さんが RinT で登壇✨子育て中の方を地域防災に巻き込みたいと話され、外国人、認知症の方、行政、地域の方などさまざまな立場の皆さんと意見を交わされました。1 期生の木原さんも感想を発表！👏　澤田さんと官民連携のすばらしい企画でした。八代から西本朱美さん、長洲町から上野さん、佑月さんと央夏さんも遠方から参加され、Rin が繋がっているな～と実感しました。澤田：はるばる天草まで、ありがとうございました😂
宗片さんのお話に、また、背中を押されました！コツコツと、やり続けていきます✨　仲間に支えられている事は、勇気づけられますね🥹　地域の方と、子育て世帯をつなげるために、地道に、がんばります！
上野：みなさんを巻き込んで、地域防災の中心になれるよう頑張っていきましょー！



2024年11月11日（月）「能登災害ボランティア」（穴井智子、佐藤裕香理、中川奈穂子）

皆さん　こんばんは～💞　今回の炊き出しボランティア活動においてご報告させていただきたいと思います(^^)
この度は、地震と豪雨という重なる災害に見舞われた能登半島、輪島朝市すぐそば、河井町の炊き出しにお声かけをさせていただき、中川さん、佐藤さんには即日参加表明をいただきました。強力なメンバーの参加に本当に感謝です🤷
今回参加が叶わずも参加したかった！との声も多数いただいてます。冬は極寒の能登です。次回は春頃に再度訪問したいと考えております。ですが、その前にボランティアに行かれる方がいらしたら是非共有していただきたいと思いますー。
（中略）14日には石川県庁で皆様からの寄付金を義援金として被災者に配分されます様にお渡しして来ました。熊本からですとお伝えしますと本当に親切にご対応下さり恐縮でした。炊き出しの輪島市のお母さん達からまた是非来てね❗と何度もお声がけをしていただきました。次回ご参加可能な方は是非ご一緒しましょう。
能登はまだまだ息の長い支援が必要だと感じます。今回ご協力をいただきました方々、応援いただきました皆さんにも深く御礼申し上げます。
最後になりますが、炊き出し終了後、輪島朝市近くにて会社を経営されます社長様のお話を傾聴させていただきました。被災地現場の方々のお話は、個人的にも深く考えさせられております。8月に能登に伺いました時より、重機も増え、復旧が進んでいる感もありますがまだまだです。今後も、個人的にもできる限りの応援を継続していきたいと気持ちを新たにして、今回の活動を終えたご報告とさせていただきます。長文失礼しました（たらー）（ごめんなさい）（中川、佐藤、穴井）

